

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(情報) 科目名(社会と情報) (2)単位 (1)学年 履修規定(必履修)

担当者(荻原、大房、熊谷均、宮下)

1. 教科書、副教材

教科書	高校社会と情報(実教出版)
副教材	社会と情報学習ノート(実教出版)

2. 科目の達成目標

情報技術やコンピュータのしくみを知り、問題解決にコンピュータを活用する方法を学習する。また、情報モラルの理解を深め、情報社会で適切な行動をとるために必要なことを学習する。

3. 学習の計画

		進行計画	授業概要	回数	考査範囲	時間(予定)	
前期	4月	高校社会と情報 第1章 情報社会 第3章 情報安全 第5章 問題解決	・教科書で理論を学びながら、情報検索の実習を行い、適切なレポートの作成ができるようにする。(主にWord PowerPoint) ・ネットワークの利用に際してのマナー等を教科書および実践で、正しく身につける。	第1回	/	10	
	5月						
	6月			第2回		10	
	7月						
	8月			第3回		教科書・学習ノート 第1章・第3章・第5章	14
	9月						
後期	10月	高校社会と情報 第2章 コミュニケーション 第4章 デジタル化 第5章 問題解決	・教科書で理論を学びながら適切な表現の仕方を学ぶ。(主にExcel PowerPoint) ・ネットワークの利用に際してのマナー等を教科書および実践で、正しく身につける。	第4回	/	14	
	11月						
	12月			第5回		教科書・学習ノート 第2章・第4章・第5章	22
	1月						
	2月						
	3月						
評価の観点・方法		定期考査、提出課題、出席等により評価を行う。 定期考査により、教科書の内容が理解できているか評価する。 提出課題により、与えられた資料からどのようなテーマを設定し、期限内にまとめることができるか評価する。 出席、授業態度等により、授業に取り組む意欲的な姿勢、関心の高さ等を評価する。					
学習への注意・助言		・単なる知識の習得だけでなく、体験を通して学ぶことを考え、実習時間を多く確保する。 ・コンピュータ操作の習熟の度合いは生徒個々で異なるので、学習内容および進度は、状況を見ながら変更することもある。					